

農業振興部 公共事業評価シート

No 『室戸』 - 1

事業名	農村地域防災減災事業	地区名	室戸	市町村名	室戸市
事業期間	平成31～35年度	事業主体	高知県		
総事業費	370,000千円	負担割合	国:55%	県:35%	市:10% 地元:0%

◇事業概要（目的及び内容の説明）

①対象者

災害防止に関する対象者（対象施設）

ため池	農地 (ha)	農作物 (ha)	用排水路		農道 (m)	住家 (戸)	市道		国道 (m)	防災受益 (ha)	想定被害額 (百万円)
			上段：全壊 下段：半壊				上段：全壊 下段：半壊				
下の谷池	0.9	3.3	215	0	39	0	0	3.29	424		
			0	0		561	339				
滝本池	0.8	2.8	127	0	8	0	0	2.8	172		
			0	0		155	171				
妙見山池	1.0	2.6	284	97	8	103	102	2.64	152		
			0	0		191	110				
浅田池	0.9	2.3	333	133	9	0	0	2.3	111		
			0	249		203	182				
計	3.6	11.0	959	230	64	103	102	11.03	859		
			0	249		1110	802				

②目的

十分な耐震性を有していないため池に耐震補強対策を実施し、地震時における堤体の決壊を防止することで住民の生命、財産及び生活を守るとともに、農業用施設等の防災機能の継続的な発揮による持続的な営農に寄与することを目的としている。

③内容（整備手法）

ため池	補強盛土 m ³	張ブロック m ²	洪水吐 B×H×L(m)	取水施設 断面*延長	計画貯水量 (m ³)	概算工事費 (千円)	備考
下の谷池	3,800	320	3.5*2.2*52.0	Φ800*43m	4,400	129,000	
滝本池	1,800	120	3.6*1.7*33.0	Φ800*26m	1,100	70,000	
妙見山池	2,300	-	-	(450*300)*11m	10,000	77,000	
浅田池	4,600	450	1.73*3.2*14	(600*600)*17m	5,000	94,000	
計						370,000	

◇対象者とそのニーズ

①現状と課題

- ・万が一決壊すれば下流の人家や公共施設等に被害を及ぼす恐れがあるため池を検証した結果、下の谷池、滝本池、浅田池は、震度5強相当の地震に対して十分な耐震性を有しておらず、妙見山池は、震度7の地震に対して十分な耐震性を有していないことが判明。
- ・万が一決壊した場合には、農業受益の他、集落や公道を直撃することが想定されており、早急な対策が必要である。

②課題発生 of 要因と解決策

- ・耐震設計を取り入れた設計指針（平成12年）の制定前に築造された耐震設計を満たしていないため池であり、耐震設計を取り入れた基準での改修を行うことにより、被災防止・軽減を図る。

③未対策の場合の影響

- ・ ため池が決壊した場合には、農地・農作物、集落や地震時の避難路となる公道を直撃することとなり、甚大な被害が想定される。

◇整備手法の選択理由

①これまでの対策

- ・ 地元による草刈り後には、年に1回「ため池防災点検の手引き（H24年3月 農業基盤課）」に基づく防災点検を実施して異常の早期発見に努めている。

②ニーズへの適合性

- ・ 地震による被害をできるだけ抑え、かつその後、営農を継続していくには、ため池の改修は必要であり、地域のニーズに適合している。

③他の整備手法との比較

検討項目	当該整備手法	他の整備手法
用水の確保	既存ため池を改修することにより、安定した用水量を確保するとともに、決壊リスクを低減して下流域の安全を図る。	既存ため池を廃止し用水量確保する手法。 1. 河川からの取水は、台地に河川がないこと。また受益地まで距離及び高低差があることから困難である。 2. 井戸取水は水源が乏しいため、用水量が不足する。
判定	○	×

◇事業の全体コストの把握

①総投資額に対する費用対効果

	総費用（C）	総便益（B）	総費用総便益比（B/C）
下の谷池	109,142 千円	394,738 千円	3.61
滝本池	63,176 千円	161,264 千円	2.55
妙見山池	70,803 千円	145,178 千円	2.05
浅田池	81,921 千円	101,020 千円	1.23
計	325,042 千円	802,200 千円	2.46

②関係機関の負担額及び受益者負担額の妥当性

	負担割合（%）				事業費 （千円）	負担額（千円）				10a当り 農家負担額	備考
	国	県	市	農家		国	県	市	農家		
室戸	55	35	10	0	0	0	0	0	0		

○ 受益者負担なし

○ 室戸市の負担については、市長が了解済み。

◇目標水準

- 下の谷池・滝本池：レベル1（震度5相当）に耐え得る対策。
妙見山池・浅田池：レベル2（震度7クラス）に耐え得る対策。

◇その他（必要な法令上の許認可手続き（地元の同意状況含む）の状況）

- 平成30年度中に土地改良法手続きを完了させる。
ため池管理者（室戸市）は、了承済み。